

イスラム教と食事



SFC
KEIO UNIVERSITY

慶應義塾大学 野中葉研究会

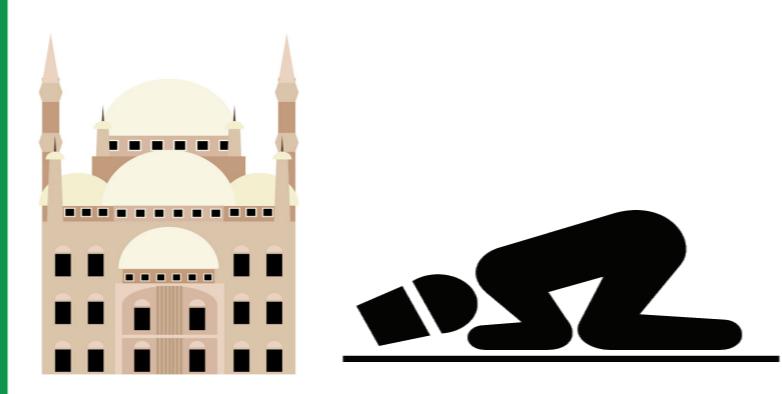
イスラム教とは

世界の4人に1人が信仰する宗教。
聖典”クルアーン”に基づいて生活を行う。神が許した事物・行為を指す。

斎戒(断食)



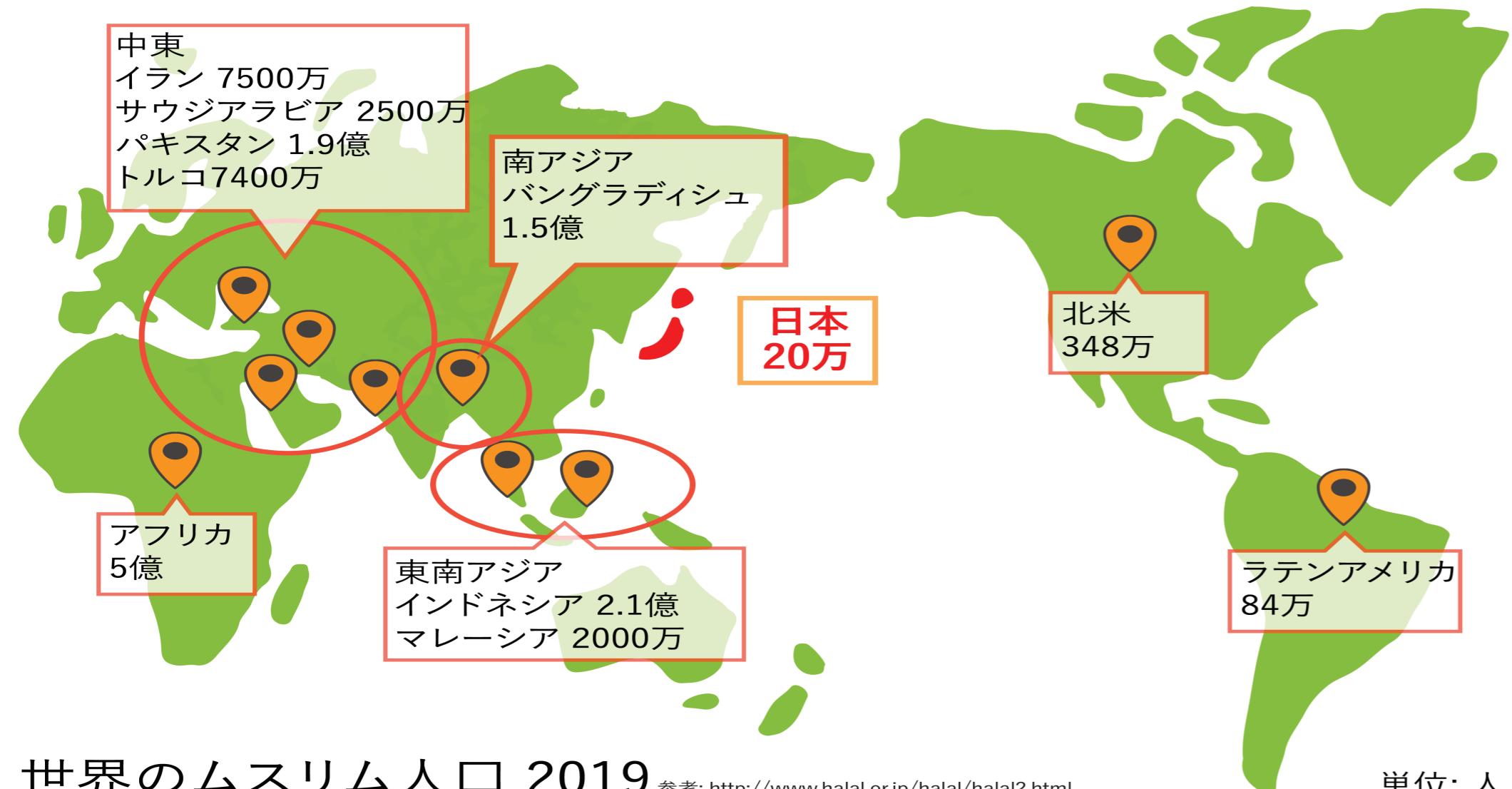
1日5回の礼拝



他にも喜捨、巡礼、宗教告白がある(5行)。
クルアーンは唯一神アッラーからの言葉。

イスラム教徒の広がり

中東・北アフリカから東南アジアに至る地域を中心に、世界各国に広まっている。



ハラールとは

“許されている”という意のアラビア語。
神が許した事物・行為を指す。

飲食に関しては豚・酒などを含まない



ハラールは**イスラム教徒の為の特別なものではない**。
一部の禁止されたものを含まなければ、
私たちの普段の食事と同じである。

イスラム教徒の食事

イスラム教徒が多く住む地域は、中東だけでなく東南アジアにも広がっており多様な食文化がある。



ナンとカレー(パキスタン)



ナシゴレン(インドネシア)

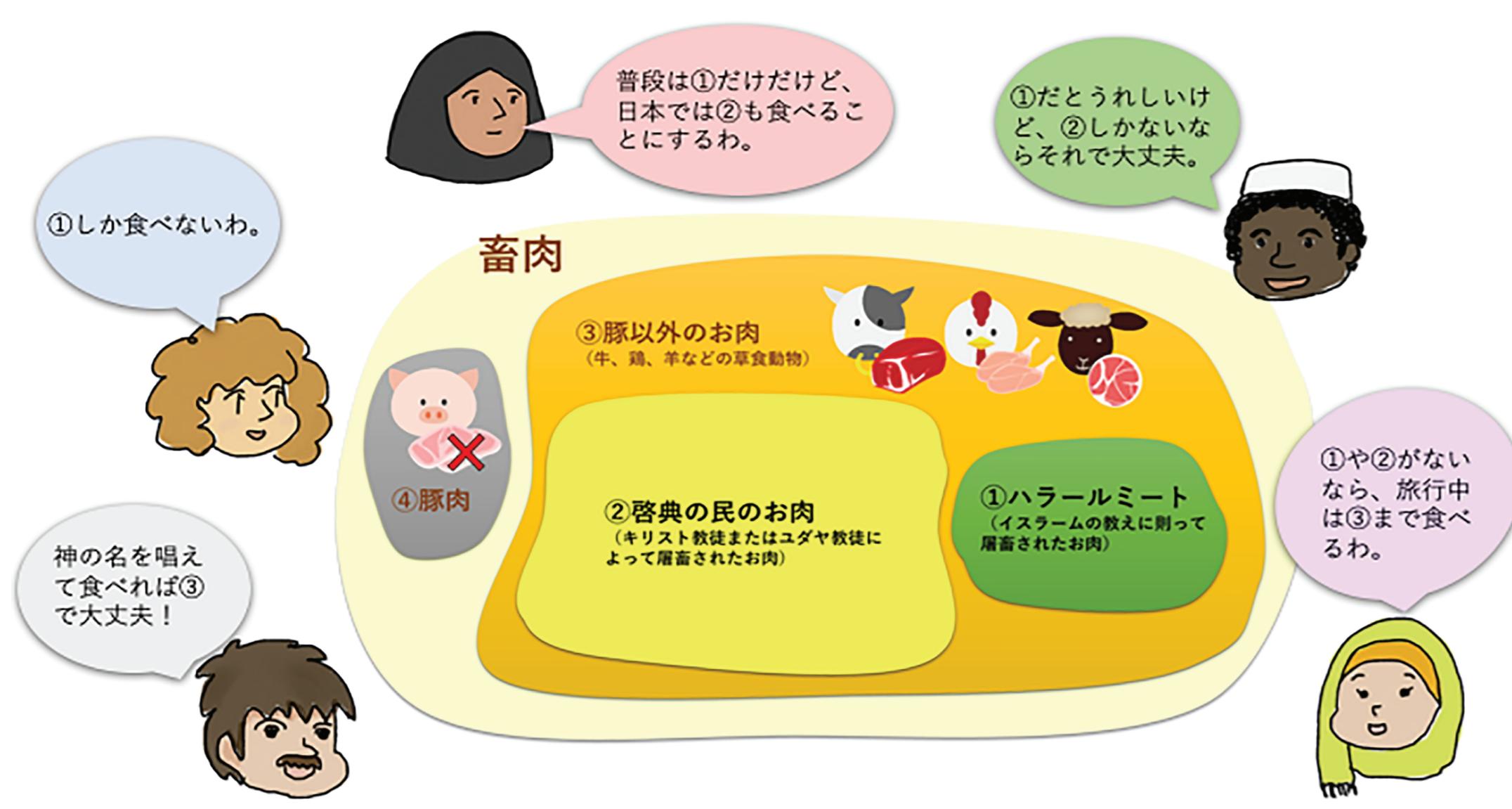
日本食を好む訪日イスラム教徒も多い。
コミュニケーションをとって、相手を気づかうことが大切。



何の食材が使われているか、何が食べられないかを確認する。

アレルギーを確認するのと同じ感覚で充分。
気づかいただけで一緒に食卓を囲むことができる。

解釈の多様性



教えの解釈の違いで実践が異なる。教えは”義務”であるが”強制”ではない。

©慶應大学湘南藤沢キャンパス イスラム研究・ラボ、野中葉研究会 ムスリム共生プロジェクト